



日 本 文 化 学 科

栗 田 勇 教 授

略 歴

- 1929年 東京都生まれ。
東京大学文学部仏蘭西文学科（旧制）卒業。同大学文学部大学院（旧制）修了。専攻フランス象徴主義研究。
1956年 国立千葉大学文理学部講師。
1974年 早稲田大学法学部講師。
1979年 慶應義塾大学久保田万太郎記念講座「詩学」担当。
1986年 NHK中央番組審議会委員を歴任。
1993年 NHK中央番組審議会委員を退職。
1993年 駒沢女子大学人文学部教授。同大学日本文化研究所所長。
1997年 芸術選奨、文部大臣賞受賞。
1998年 日本文化学科主任（2000年3月まで）。
1999年 芸術・文化の功績に対し、紫授褒賞受賞。
2000年3月 退職

主要著書

- 1960年より西欧文化を踏まえた日本精神文化の研究に進み、作家・思想家として研究随筆に専念。
『ロートレアモン全集』個人全訳（人文書院） 『知的正統のために』（河出書房） 『神々の愛でし都』（中央公論社） 『わがガウディ』（朝日新聞社） 『道元・一遍・良寛』（春秋社） 『最澄と天台本覚思想』（作品社） 『評伝 最澄 全3巻』（新潮社） 『西行から最澄へ』（岩波書店） 『栗田勇著作集 全12巻』（講談社）ほか多数
『一遍上人・旅の思索者』（新潮社）で芸術選奨文部大臣賞を受賞。

なお栗田教授から「体調不良で休養中なので、最終講義原稿の提出は遠慮したい」との申し出がありましたのでご報告申し上げます。研究紀要委員会